

誰かの特別でありたいすべての人へ

アヤとあや

渡辺優・著



画家である父のモデルをしている、小学5年生の亜耶は、常に自らの美意識と神秘性に特別なものを感じていた。そんな彼女は相棒の彩といつも行動を共にしていた。歳を重ねるにつれ、次第に自分に宿る神秘性が損なわれていっていると感じるようになる。11歳の誕生日を迎えた当日、その感覚はより一層強くなっていく。学校に大勢いるただの凡人になり下がらないと、彩と共に「特別な」何かをしようという決意。いつもと少し違う日常を模索する。亜耶たちの前に、「学校にナイフを持ってきた」と騒ぐ男子が。そこに着想を得た相棒の彩が、「ナイフがほしい」と言い始め……。

渡辺優だからこそ描ける少女の心の深い間。大人と子供の狭間で複雑に揺れる十代のリアルを鋭く紡ぎ出す！

7月28日発売

定価:1,760円(税込)

四六判/242ページ

ISBN978-4-09-386619-4

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09386619>

◆渡辺 優(わたなべ・ゆう)

1987年、宮城県生まれ。宮城学院女子大学卒業。2015年「ラメルノエリキサ」で小説すばる新人賞を受賞しデビュー。著書に「自由なサメと人間たちの夢」「悪い姉」「クラゲ・アイランドの夜明け」「きみがいた世界は完璧でした、が」など多数。

大日本帝国はいかにしてロシアを撃破したのか？

逆説の日本史 26

明治激闘編 日露戦争と日比谷焼打の謎
 井沢元彦・著



大日本帝国が、世界最強の陸軍とバルチック艦隊を擁していた超大国ロシアに勝利した「奇跡」を詳細に分析。その過程で浮かび上がった、日露戦争における従来の「定説」を覆す「逆説」の数々——「乃木希典は愚将などでは無く、むしろ名将だった」「日本海海戦の勝因は「丁字戦法」では無かった」「帝国内にはロシア軍以外にも恐るべき「敵」が存在していた」など、独自の解釈を紹介する。

また、日露戦争終結後に発生した大規模な騒乱「日比谷焼打事件」にも注目し、その背景を考察。「大正デモクラシーへの第一歩」などと肯定的に評価されることが多いこの事件が、じつは「大日本帝国破滅への分岐点」になっていたことを突き止め、事件の「黒幕」とともにその真相に迫ってゆく。

7月30日発売

定価:1,870円(税込)

四六判/384ページ

ISBN978-4-09-380119-5

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09380119>

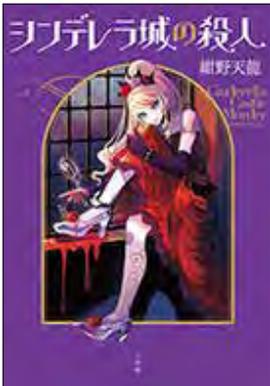
◆井沢元彦(いざわ・もとひこ)

作家。1954年、愛知県名古屋生まれ。早稲田大学法学部卒業。TBS報道局記者時代の1980年に「猿丸幻視行」で第26回江戸川乱歩賞を受賞。1992年より「週刊ポスト」にて「逆説の日本史」を連載中。著書に「逆説の世界史」「日本史真髓」など。

童話×ミステリ！ 容疑者は、シンデレラ!?

シンデレラ城の殺人

紺野天龍・著



怪しい魔法使いに「ガラスの靴」を渡され、言葉巧みに王城で開かれる舞踏会へと誘われたシンデレラ。お城に到着するやいなや、美しいシンデレラはさっそく王子様の目にとまる。「ガラスの靴では踊りにくからう」と、王子様から靴を借り、シンデレラは王子様とダンスを踊る。ダンスが終わわり、シンデレラはガラスの靴を返してもらおうため、二人で王子様の私室へと赴く。しかし、いくら待っても王子様が戻ってこない。心配になったシンデレラが部屋の奥へと顔を出すと、なんと王子様が死体となって横たわっていた。そして直後、部屋にやってきた兵士によって、シンデレラは王子様殺しの現行犯として捕まってしまう……。前代未聞の王子様殺しに、シンデレラが推理で挑む！

7月30日発売

定価:1,650円(税込)

四六判/280ページ

ISBN978-4-09-386618-7

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09386618>

◆紺野天龍(こんの・てんりゅう)

第23回電撃小説大賞に応募した「ウィアの戦術師」を改題した「ゼロの戦術師」で2018年にデビュー。他の著作に「錬金術師の密室」「錬金術師の消失」などがある。



7月30日発売
 定価:2,860円(税込)
 A5判/230ページ
 ISBN978-4-09-388818-9
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09388818>

日本人はいかに「時」を創ってきたのか
時間の日本史
 日本人はいかに「時」を創ってきたのか
 佐々木勝浩／井上毅／広田雅将／細川瑞彦
 藤沢健太・著

日本においてめざましく進歩した「時間」について、その歩みを人々の暮らしや産業と関連づけながら時代順にまとめた、日本初の「時間の歴史書」。

古来、人々は太陽や月の動き、季節の移り変わりで時の流れを感じてきたが、いつからどのようにして時間を認識し、全国共通の時間を意識するようになったのか？ また、日本を世界有数の時計生産国までに押し上げた時計産業が成し遂げたこととは？ そして、原子時計や時間学など最新研究の現状は？

幅広い側面を持つ「時間」の歴史を、日本を代表する各専門家がリレー形式でつなぐ。

◆佐々木勝浩(ささきかつひろ)
 国立科学博物館 名誉会員・名誉研究員、第1章を担当。

◆井上毅(いのうえたけし)
 明石市立天文科学館 館長、第2章を担当。

◆広田雅将(ひろたまさゆき)
 時計専門誌「クロノス日本版」編集長、第3章を担当。

◆細川瑞彦(ほそかわみずひこ)
 情報通信研究機構 主席研究員、第4章を担当。

◆藤沢健太(ふじさわけんた)
 山口大学 時間学研究所 所長、第5章を担当。



8月6日発売
 定価:1,320円(税込)
 新書判/200ページ
 ISBN978-4-09-396552-1
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09396552>

「九十歳。何がめでたい」の待望の続刊！
九十八歳。戦いやまず日は暮れず
 佐藤愛子・著

2016年に発売した「九十歳。何がめでたい」は2017年の年間ベストセラー総合ランキング第1位になり、現在までに累計130万部を超えるベストセラーになりました。

本作は、あれから5年、時は平成から令和にうつり、今秋98歳になる佐藤愛子さんが断筆宣言をした「さようなら、みなさん」を収録する「最後のエッセイ集」となります。

1969年に発売された直木賞受賞作『戦いすんで日が暮れて』から52年、自身の最後となるこのエッセイ集のタイトルに「九十八歳。戦いやまず日は暮れず」と付けたのは、借金は返済しただけ、人生の戦いは終わらず、日も暮れていない——愛子センセイが97年を生きて来た人生の実感です。愛子センセイがヘトヘトの果てでしぼり出した、天下無双のエッセイ全21編をぜひご堪能ください。

◆佐藤愛子(さとあいこ)
 1923年生まれ。'69年『戦いすんで日が暮れて』で直木賞ほか受賞歴多数。2017年旭日小綬章受章。『九十歳。何がめでたい』が'17年の年間ベストセラー総合第1位に。近著に、小島慶子氏との往復書簡エッセイ集『人生論 あなたは酢ダコが好きか嫌いか ～女二人の手紙のやりとり～』など。



8月18日発売
 定価:1,760円(税込)
 四六判/368ページ
 ISBN978-4-09-386620-0
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09386620>

映画「いのちの停車場」、著者最新作！
ヴァイタルサイン
 南杏子・著

二子玉川グレース病院で看護師として働く堤素野子は、31歳になり今後のキャリアについても悩みながら忙しい日々を過ごしていた。

あるとき素野子は休憩室のPCで、看護師と思われる「天使ダカラ」さんのツイッターアカウントを見つける。そこにはプロとして決して口にしてはならないはずの、看護師たちの本音が赤裸々に投稿されていて……。

映画「いのちの停車場」やNHK連続ドラマ「ディア・ペイシエント」など数々の話題作を世に出してきた、現役内科医でもある著者の最新作！ 終末期の患者が多く入院する病棟で働く女性看護師の目を通して、医療現場の現実や限界をリアルに描いたエンタメ長編！！

貫地谷しほりさん(女優)、夏川草介さん(医師・作家)、中山祐次郎さん(外科医・作家)など、絶賛の声続々！

◆南杏子(みなみきょうこ)
 1961年、徳島県生まれ。日本女子大学卒業。出版社勤務を経て、東海大学医学部に学士編入し、卒業後、都内の大学病院老年内科などで勤務する。2016年『サイレント・プレス』でデビュー。他の著書に『ディア・ペイシエント』(NHK連続ドラマ化)、『いのちの停車場』(2021年映画化)などがある。



8月4日発売
 定価：935円(税込)
 B6判／196ページ
 ISBN978-4-09-259191-2

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09259191>

ビッグ・コロナタン
ドラえもん科学ワールド
未来をつくる生き物と技術
 藤子・F・不二雄・著／藤子プロ／高分子学会バイオミメティクス研究会／NPO法人バイオミメティクス推進協議会・監
 環境問題への対策が急務となっている今、動植物の姿や能力を真似ることや物作りをする科学技術「バイオミメティクス」が注目されています。この最新技術を、ヒントとなった動植物とともに楽しく紹介する一冊です。

生き物から教わる最新科学！



8月4日発売
 定価：935円(税込)
 B6判／192ページ
 ISBN978-4-09-259188-2

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09259188>

ビッグ・コロナタン
ドラえもん探究ワールド
衣服と制服のひみつ
 藤子・F・不二雄・著
 「ぎせかえカメラ」があったら、どんな服を楽しみたい？ 古代の服、平安貴族の着物、近代ヨーロッパのドレス、スポーツのユニフォーム、学生服など、多種多様な衣服について謎解き！ 職種別の制服も大紹介。

衣服&制服から社会や世界を学ぶ！

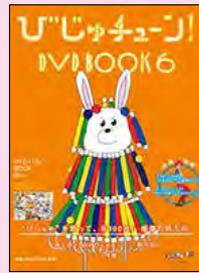


8月11日発売
 定価：1,760円(税込)
 B20取／14ページ
 ISBN978-4-09-682370-5

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09682370>

まっつてで、まっつてで！
フランソワ・ポンポンの彫刻たち
 フランソワ・ポンポン・彫刻／谷川俊太郎・ことは
 2021年、国内初の回顧展が開かれているフランスの彫刻家、フランソワ・ポンポンのビジュアルブック。詩人・谷川俊太郎さんが作品にことばをのせています。ジャバラ折の本書はインテリアとして飾るのもおすすすめ。

フランソワ・ポンポン国内初のビジュアル本



8月4日発売
 価格：2,970円(税込)
 A5判／92ページ
 ISBN978-4-09-480368-6

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09480368>

「びじゅチューン！」シリーズ第6弾!!
びじゅチューン!
DVD BOOK 6
 井上涼十NHKびじゅチューン！制作班・著

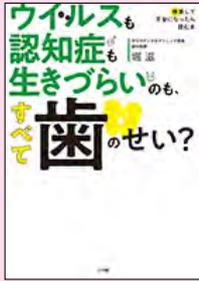
アーティスト井上涼十が手がける、美術作品を題材にしたユニークなテレビ番組「びじゅチューン！」(NHK Eテレ)。新曲17曲＋特典映像を加えたDVD BOOK 待望の第6弾が発売！ 特別ふろくとして、友達や家族とあそべるビッグサイズの「びじゅチューン！」祝100マスすごろく」がついています。



8月24日発売
 定価：1,760円(税込)
 AB5判／24ページ
 ISBN978-4-09-112591-0

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09112591>

きみだけのパウパッドを手に入れよう！
 小学館のカラーワイド
パウパッドであそぼう！ブック
 パウ・パトロール製作委員会・著・監
 プレミアム完成品ふろく「しゃべる！スライドする！パウパッドDX」はケントやチェイスのセリフ、効果音など合計10種類の音声を収録しています。きみだけのパウパッドを手に入れて、ケントになりきっちゃおう！



8月5日発売
 定価：1,210円(税込)
 A5判 / 128ページ
 ISBN978-4-09-310686-3

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09310686>

堀滋・著
 元気な老後を過ごすためには口腔ケアがカギ、と気付いた50代女性が、古い常識を上書きするためネホリハホリ歯科医に聞いてみた！自分でできるホームケアと、プロにまかせるべきメンテナンスの最新情報を一冊に。

健康寿命にふかつかかわるお口ケアの教科書
ウィルスも認知症も生きづらいのも、すべて歯のせい？

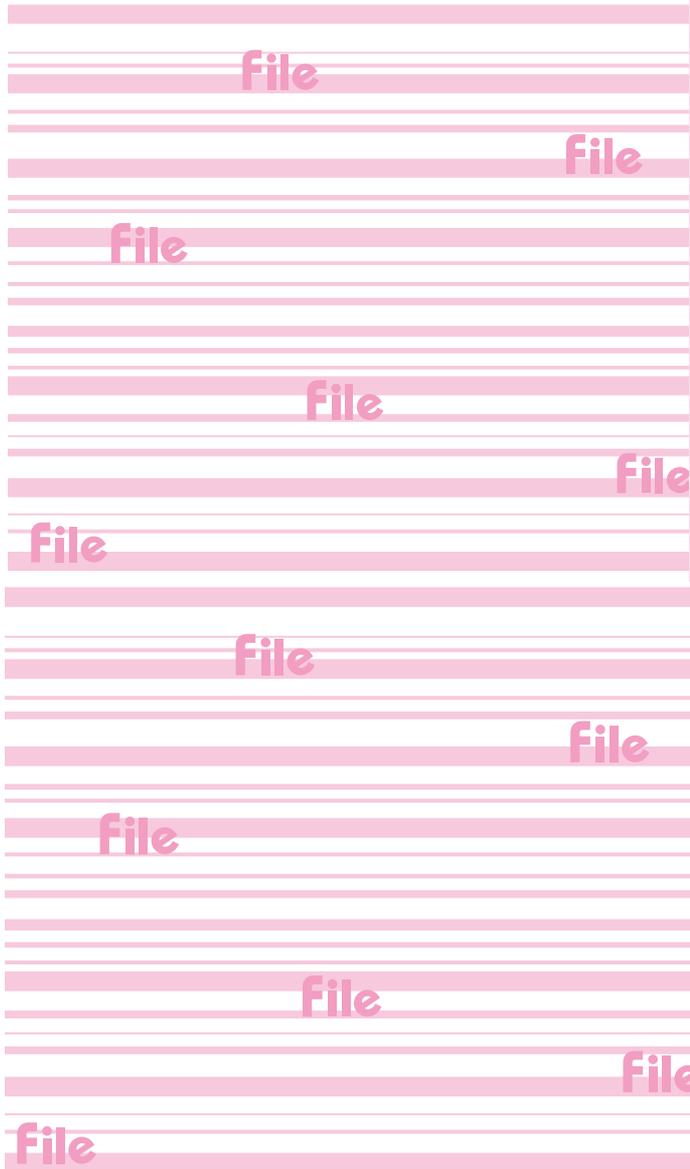


7月30日発売
 定価：1,760円(税込)
 A5判 / 128ページ
 ISBN978-4-09-307007-2

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09307007>

岡理恵子・著
 点と線模様製作所・岡理恵子さんによるオリジナルの方眼模様20種を収録。クロスステッチと棒針編み、それぞれの完成例と、方眼模様の刺繍生地／編み地を使った手作りのアイデアも紹介します。

点と線模様製作所の模様が自分で作れる！
ten to sen の方眼模様
刺繍に、ニットに。点と線模様製作所の模様帖



いっだって、僕らは本と生きてきた。
「P+D BOOKS」今月のラインナップ
小説陸軍(下) 火野葦平・著
 高木家の三代目 伸太郎は中国戦線からフィリピンへと転戦。そこへ実弟の礼三が赴任してくる。間もなく米軍との戦闘は激しさを増していき……。自らの戦争体験を生かして、末端の兵士の姿を写した戦争文学の極致。
 定価：825円(税込) B6判 / 340ページ
 ISBN978-4-09-352421-6
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09352421>
オールドボーイ 色川武大・著
 「男の花道」「男の十字路」「男の旅路」「オールドボーイ」といった「男シリーズ」のほか、単行本未収録の「赤い靴」「青年」「蜘蛛太夫」「道路の虹」などをまとめた、無類派作家、最晩年の短編小説集。
 定価：715円(税込) B6判 / 228ページ
 ISBN978-4-09-352422-3
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09352422>
 8月12日発売・配信(ペーパーバックとデジタルで同時、同価格)
<https://pbooks.jp>

小学館新書

無理ゲー社会

橘玲・著

「きらびやかな世界のなかで、「社会的・経済的に成功し、評判と性愛を獲得する」という困難なゲーム（無理ゲー）をたった一人で攻略しなければならぬ。これが「自分らしく生きる」リベラルな社会のルールだ。」（本書より）

才能ある者にとってはユートピア、それ以外にとってはディストピア。誰もが「知能と努力」によって成功できるようになったことで、社会は「知能の高い（上級国民）」と「知能の低い（下級国民）」に分断される。ベストセラー作家が知能格差のタブーに踏み込み「理不尽なゲーム」の正体を解き明かす衝撃作。



7月29日発売
 定価：924円(税込)
 新書判／288ページ
 ISBN978-4-09-825400-2

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09825400>

小学館新書

ムッソリーニの正体

ヒトラーが師と仰いだ男
 舛添要一・著

経済格差やコロナ禍で世界が不安、恐怖に覆われるなか、再び独裁的な指導者の力が増している。

20世紀における独裁の象徴が、イタリアのムッソリーニだった。あのヒトラーが師と仰いだ男でもある。両者はしばしばファシストと称され、一括りに非難される。だが、その行動と思想は大きく異なる。2人の政治家はどこが違うのか？ ナチズムとファシズムは何が異なっているのか。

ムッソリーニの思想、行動を詳細に辿ることで、現代社会の危うさも見てくる。



7月29日発売
 定価：968円(税込)
 新書判／304ページ
 ISBN978-4-09-825403-3

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09825403>

小学館新書

最強の食材 コオロギ

フードが地球を救う
 野地澄晴・著

「食糧危機に瀕している人口は世界で1億5千万人を数え、前年比で2千万人増。この傾向は今後も続く」と国連が警鐘を鳴らす(2021年5月時点)。

こうした状況で脚光を浴びているのが「昆虫食」。なかでも「食用コオロギ」だ。高タンパク・低糖質で、繁殖力の強いコオロギの研究をいち早くスタートさせた徳島大学長の野地澄晴さんが、「コオロギせんべい」や「シトリア クランチ」などのサステナブル商品の開発秘話や、今後期待される各種ワケチンへの応用まで、食用コオロギの無限の可能性について解説する。



7月29日発売
 定価：902円(税込)
 新書判／192ページ
 ISBN978-4-09-825404-0

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09825404>

◆橘玲(たちばな あきら)

1959年生まれ。作家。国際金融小説「マネロンダンク」(タックスヘイヴン)などのほか「お金持ちになれる黄金の羽根の拾い方」「幸福の「資本論」など金融・人生設計に関する著作も多数。「言ってはいけない、残酷すぎる真実」で2017年新書大賞受賞。近著に「上級国民」「下級国民」「女と男、なぜわかりあえないのか」など。最新刊は「スピリチュアルズ」「わたしの謎」。

◆舛添要一(ますぞえ よういち)

1948年、福岡県北九州市生まれ。1971年、東京大学法学部政治学科卒業。パリ(フランス)、ジュネーブ(スイス)、ミューンヘン(ドイツ)でヨーロッパ外交史を研究。東京大学教養学部政治学助教授などを経て、政界へ。2001年、参議院議員自民党に初当選後、厚生労働大臣(安倍内閣)、福田内閣、麻生内閣、東京都知事を歴任。著書に「都知事失格」「ヒトラーの正体」など。

◆野地澄晴(のじずみはれ)

徳島大学長。1948年、愛媛県松山市生まれ。1970年、福井大学工学部応用物理学科卒業。1980年、広島大学大学院理学研究科修士(理学)博士。1980年、米國衛生研究所客員研究員。1983年、岡山大学歯学部助手。1992年、徳島大学工学部教授。2012年、徳島大学理事。2016年から現職。専門分野は発生再生生物学。「世界の課題を解決して、最も豊かな大学になる」が大学経営の目標。

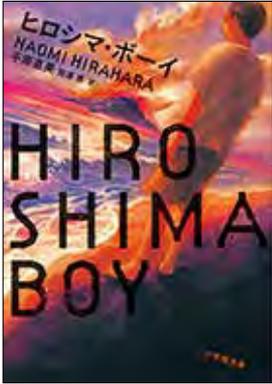
小学館文庫

ヒロシマ・ボーイ

平原直美・著／芹澤恵・訳

米国で生まれ広島で育ち、戦後帰米した日系二世、二元庭師の老人マス・アラ伊。広島の小島に親友の遺灰を届けるため、彼は50年ぶりに日本を訪れた。そこで彼は、少年が犠牲になる痛ましい事件に遭遇する。

日系米国人作家が父親をモデルに書き続けた「庭師マス・アラ伊」シリーズ第7作。父親の故郷・広島を鮮やかに活写し、複雑なルーツを持つ主人公の内面を見事に描いて2019年エドガー賞最優秀賞最終候補作に。日本のメディアでも話題の傑作ミニステリが、いよいよ登場。



◆平原直美(ひらはら なおみ)
 スタンフォード大学卒業後、羅府新聞の記者を経て2004年に「マス・アラ伊」シリーズ第一作「Summer of the Beirbach」を発表。三作目「スネークスキン」三味線でMWA受賞。本作が19年のエドガー賞最終候補作に。

8月6日発売
 定価：1,034円(税込)
 文庫／320ページ
 ISBN978-4-09-406728-6

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406728>

小学館文庫

九十歳。何がめでたい

増補版
 佐藤愛子・著

2017年「年間ベストセラー総合第1位(二日版・トーハン調べ)」のエッセイ集が待望の文庫化。新たに本書が売れた後の「怒濤狂瀾の日々」を綴ったエッセイや、旭日小綴章を受章した際の爆笑記者会見の様子が、畏友・瀬戸内寂聴さんの解説を収録しています。

小学生からお年寄りまで世代を超えてゲラゲラ笑いこぼる面白さで、読んだら元氣と勇氣がもらえます。ご高齢のかたでも読みやすいよう、文字を特別に大きくしています。大切なかたへのプレゼントにもオススメです！



◆佐藤愛子(さとう あいこ)
 1966年生まれ。69年「戦いすんで日が暮れて」で直木賞受賞。「九十歳。何がめでたい」が17年の年間ベストセラー総合第1位に。最新刊は「九十八歳。戦いやまらず日は暮れず」。

8月6日発売
 定価：660円(税込)
 文庫／304ページ
 ISBN978-4-09-406766-8

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406766>

小学館文庫

警視庁レッドリスト2

加藤実秋・著

阿久津慎と三雲みひろは、不祥事警察官を赤字リストに載せるべきかを内偵する部署「職場環境改善推進室」で働いている。一方、かつて阿久津の捜査に利用された宗教団体内部では、阿久津へ復讐すべきとする勢力が台頭してきた。動きを察知した阿久津は、内偵者を使い、団体の崩壊を画策する。後継者選挙を間近に控えたある夜、かつて因縁のあった警察官から呼び出された阿久津の前に、団体の信者の遺体が！ 被疑者となった阿久津。上司の無実を信じるみひろは、単身宗教団体へ乗り込んでいく！ 警察組織を揺さぶる頭脳戦の行方は？！



◆加藤実秋(かとう みあき)
 1966年、東京都生まれ。2003年「インテイクの夜で創作推理短編賞」を受賞し、デビュー。他の著書に「モップガール」シリーズ、「メソンのドボリス」シリーズがある。

8月6日発売
 定価：858円(税込)
 文庫／384ページ
 ISBN978-4-09-407041-5

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407041>

小学館文庫

左京区桃栗坂上ル

瀧羽麻子・著

転勤家庭で引っ越してばかりだった上原璃子は、4歳の時、奈良で安藤果菜と出会った。二人は仲良しになって青果店を営む果菜の家で毎日のように遊んだ。それにつき合ってくれたのが果菜の3歳上の兄・実だった。やがて上原家は奈良から埼玉へ引っ越すが、高校進学タイミングで大阪に移り、二人は再会する。その頃、兄の実は大学に進学し、京都で暮らしていた。璃子はそれから実と同じ大学に進学するのだが……。

憧れだったお兄ちゃんは料理オタクの理系男子。左京区シリーズ最大規模の恋の嵐が「左京区」に吹き荒れる。幸福度200%の物語、待望の文庫化！



◆瀧羽麻子(たきわ まこ)
 1981年、兵庫県生まれ。京都大学経済学部卒業。2007年「うさぎパン」で第2回タウインチ文学賞大賞を受賞。2019年「たまねぎとちみつ」で第66回産経児童出版文化賞フジテレビ賞を受賞。

8月6日発売
 定価：902円(税込)
 文庫／416ページ
 ISBN978-4-09-407048-4

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407048>

小学館文庫

食と酒 吉村昭の流儀
谷口桂子・著

没後15年を経て、いまだに広く愛読されている国民的作家、吉村昭。膨大な史料の博覧と綿密な取材で、日本人の知られざる歴史と庶民の生活を描いた作家の唯一の楽しみは、「食べること、呑むこと」だった。

吉村昭と、夫人で芥川賞作家の津村節子の生活の細部を、二人が書いた随筆、小説、対談などから紐解いて、吉村昭が愛した日本の食と酒、そして旅を通じて浮かび上がる夫婦の絆と愛情を、作家・谷口桂子があますところなく記した完全書き下ろし文庫。巻末解説は吉村昭と交友があった直木賞作家、出久根達郎氏。



◆谷口桂子(たにぐちけいこ)
作家、俳人。三重県四日市生まれ。東京外国語大学外国語学部イタリヤ語学科卒業。小説「越し人 芥川龍之介最後の恋人」など著書多数。

8月6日発売
定価：726円(税込)
文庫／288ページ
ISBN978-4-09-407049-1

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407049>

小学館文庫

さよなら、ムッシュ
片岡翔・著

小さな出版社で校正の仕事をしている森星太郎は、幼いころ他界した作家で母の文字が残してくれたコアラのぬいぐるみを大事にしていた。

ムッシュ、と名付けられたそのぬいぐるみは、母が亡くなったその日、なんと突然しゃべりだし、以来、無二の親友になっていた(もちろん、世間には内緒のままにして)。

そんなある日、しゃっくりがとまらなくなった星太郎は、自分が母と同じ死に至る病に罹っていることを知ってしまう。ムッシュは、星太郎に思いがけないある提案をした。
温かで、名付けようのない思いに満たされる感動作。



◆片岡翔(かたおかしょう)
1966年、北海道生まれ。脚本に「ネメシス」「ノイズ」「町田くんの世界」など。小説はほかに「あなたの右手は蜜蜂の香り」「ひとでちゃんに殺される」。

8月6日発売
定価：726円(税込)
文庫／288ページ
ISBN978-4-09-407050-7

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407050>

小学館文庫

偶然屋2
闇に揺れるツインテール
七尾与史・著

偶然を演出してくれるプロがいるらしい……。この日、「オフィス油炭」に持ち込まれた依頼は「出会いの演出」。クライアントの要望は、映画と同じシチュエーションで一目惚れした女性とたまたますれ違いたいというもの。

アクシデントディレクターの水氷里美は、社長の油炭の指示で、女子中学生のクロエとともにミッションに挑む。一方、そのクロエは日本中の優秀な子供を集めて行なうプロジェクトのメンバーに選ばれる。しかし、プロジェクトの裏には偶然屋にとつて因縁の相手である、仏の影が見え隠れして……。大人気ミステリー、待望の続編!!



◆七尾与史(ななおよし)
1969年、静岡県浜松市生まれ。第8回「このミステリーがすごい!」大賞で最終選考に残った「死」フラグが立ちました。2010年にデビュー。著書多数。

8月6日発売
定価：770円(税込)
文庫／400ページ
ISBN978-4-09-407051-4

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407051>

小学館文庫

サカナとヤクザ
暴力団の巨大資金源「密漁ビジネス」を追う
鈴木智彦・著

アワビ、ウナギ、ウニ、サケ、ナマコ……「高級魚(サカナ)を食べると暴力団(ヤクザ)が儲かる」という食品業界最大のタブーを暴く。築地市場から密漁団まで5年に及ぶ潜入ルポは刊行時、大きな反響を呼んだが、このたび文庫化にあたって「サカナとヤクザ」の歴史と現状を追加取材。新章「魚河岸の守護神」佃政の数奇な人生「密漁社会のマラドーナは生きていた」を書き下ろした。文庫解説は「モテキ」「バクマン」の映画監督・大根仁氏。



◆鈴木智彦(すずきともひこ)
1966年、北海道生まれ。週刊誌「実話誌」などに広く暴力団関連記事を寄稿する。主な著書に「ヤクザと原発 福島第一 潜入ルポ」や「ヤクザの修羅場」や「ヤクザときどきヒール」など。

8月6日発売
定価：979円(税込)
文庫／384ページ
ISBN978-4-09-407052-1

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407052>

小学館文庫

置き去りのふたり

砂川雨路・著

みちかと太一が大学で出会った空人は、明るく誰からも好かれる人気者だった。二人は空人に密かに恋心を抱いていた。しかし卒業から一年後、空人が死んだ。心中だった。さらに空人の胃から心中相手の小指が発見され、事件はマスコミにも大きく報道された。現実感のない事態を前にし、いまだ彼の死を受け入れられないみちかと太一。そんな中、二人のもとに手紙が届く。手紙には空一人の字で「ふたりをいつまでも恨んでいるよ」と書かれていて……。最愛の人の死と、悲しすぎるメッセージ。彼はなぜ、死を選んだのか。置き去りにされた二人が紡ぐ喪失と再生の物語。



◆砂川雨路(すながわ あめみち)
新潟県出身、東京都在住。主な著書に『憧れ』『僕らの空は群青色』がある。趣味は運動と爬虫類の飼育。

8月6日発売
定価:704円(税込)
文庫/272ページ
ISBN978-4-09-407054-5

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407054>

小学館時代小説文庫

初手柄 かぎ縄おりん

金子成人・著

足に傷を負って一線を退いた父から十手を受け継ぎ、念願の目明かしとなった日本橋堀留の駕籠屋の娘、おりん。その空き駕籠を借りて商売していた男たちが何者かに斬られた。男たちは、ある武家の奥方をたびたび出合茶屋に迎えに行っていた。女はいつも幽霊坂下で駕籠を下りるといふ。見廻りに飛び回っていたおりんはある日、幼馴染みの参次と十年ぶりに再会する。生き別れの妹を捜してほしいと言っ参次。だがその腕には入墨が……。ドラマ時代劇の名脚本家が贈る、涙と笑いの人情物語。大好評シリーズ第二弾、早くも登場!



◆金子成人(かねこ なりと)
1940年、長崎県生まれ。72年「おはよう」脚本家デビュー。97年向田邦子賞受賞。脚本作品に『鬼平犯科帳』『水戸黄門』など多数。「付添い屋六平太」で小説デビュー。

8月6日発売
定価:748円(税込)
文庫/304ページ
ISBN978-4-09-407045-3

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407045>

小学館時代小説文庫

勘定侍 柳生真剣勝負(四) 洞察

上田秀人・著

女中にして見張り役の伊賀忍・佐夜を傍に、柳生家勘定方の淡海一夜は、愚痴りながら算盤を弾いていた。柳生家が旗本から大名となったお披露目に、お歴々を招かねばならぬのだ。手抜きがあれば、付け込まれてしまう宴席に、一夜は知略と人脈を駆使する。一方、柳生家改易を企み、一夜を取り込まんとしたが、失敗に終わった物目付の秋山修理亮は、ある噂を耳にし、再び甲賀組と力組頭の望月土佐を呼ぶ。さらに柳生の郷では、三代將軍家光が寵愛する友矩に、老中・堀田加賀守が送り込んだ忍が迫る! 一夜の策は功を奏すのか? 間一髪の第四弾!



◆上田秀人(うえだ ひでと)
1959年、大阪府生まれ。97年に「身代わり吉右衛門」で第20回小説CLUB新人賞佳作を、2010年には孤闘立花宗茂「第16回中山義秀文学賞」を受賞。

8月6日発売
定価:770円(税込)
文庫/304ページ
ISBN978-4-09-407046-0

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407046>

小学館文庫(キャラバン)

蟲愛づる姫君 寵妃は恋に惑う

宮野美嘉・著 / 碧風羽・イラスト

臣下である雷真の母親から、息子とその婚約者の仲を取り持つよう懇願された魁国王妃・玲琳は、避暑がてら双子たちを連れて雷真の故郷へと出向く。しかしそこで依頼主が急死! 一転、殺人容疑をかけられた玲琳は!?

定価:660円(税込) 256ページ
ISBN978-4-09-407055-2
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407055>

浅草ばけもの甘味祓い
兼業陰陽師だけれど、鬼上司と駆け落ちしました!?

江本マシメサ・著 / 漣ミサ・イラスト

父親の企みによってお見合いをさせられそうになる遥香。阻止しようとする長谷川係長は、遥香の両親と対面することに……。長谷川係長の秘密が両親にバレてしまう!? 兼業陰陽師とホンモノ、鬼上司のシリーズ第5弾!

定価:663円(税込) 288ページ
ISBN978-4-09-407056-9
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407056>

8月6日発売 文庫判